

| | | | |
|---------|-------|----------|----------|
| 看護管理学概論 | 3年・後期 | 1単位 45時間 | 講師 木部 和枝 |
| 科目カテゴリー | 看護の統合 | 科目ナンバリング | 34111023 |

1. 授業のねらい・概要

学生は、変化する保健医療福祉分野において、看護サービスの向上に関連する看護諸理論・看護技法を理解し、社会や組織から求められる看護管理者の責務と役割を学ぶ。また、看護の質の向上を目指す看護管理者と看護師の協働に必要な知識を考察する。さらに様々な医療現場における多職種連携・協働の実際と看護師の役割を学習する。

2. 学修の到達目標

1. 学生が思う将来の看護師像が言える。(D-1)
2. 看護マネジメントに必要な項目が言える。(D-2)
3. 看護職と医療安全について説明できる。(D-3)
4. 看護サービスを提供する組織と個人の役割について説明できる。(D-1)
5. チーム医療と協働について説明できる。(D-2)
6. 自身の看護師としてのキャリアの方向性を説明できる。(D-1)
7. 看護サービスのマネジメントについてグループで、発表できる。(D-1)
8. 看護チームと多職種連携について説明できる。(D-3)

3. 授業の進め方

講義と演習を中心に授業を進める。

【アクティブ・ラーニング実施の有無】

アクティブ・ラーニングとして、事前学習型授業、グループワーク、リフレクション、レポートを用いる。

【ICT活用の実施の有無】

ICT活用の実施：Classroom等による学習課題の提示、メールによる質問等の受付、WEB配信「ナースングチャンネル」、DVDの活用等。

4. 授業計画（講義・演習）

| 回 | 授業内容 | 授業形態 | 事前事後学修（学修課題） | 担当 |
|---|-------------------------|------|---|------|
| 1 | 看護管理の動機付け | 講義演習 | 予習：就活をテーマに学生自身が考えるグループディスカッションを行うため、自身の将来の姿についてまとめておくこと。 復習：自身がどんな病院に就職しどのような看護師になりたいかについて学修シート①にまとめる。 | 木部和枝 |
| 2 | 協働：他者と共に活動すること | 講義演習 | 予習：テキスト第2章を読み、看護における協働の定義をまとめておく。 復習：学習シート②に重要な用語を記載し講義内容をまとめる。 | 木部他 |
| 3 | 看護ケアのマネジメント① 看護と医療安全 | 講義演習 | 予習：テキスト1)第2章を読み、看護職と医療安全についてまとめておく。 復習：学習シート②に重要な用語を記載 | 木部他 |

| | | | | |
|-------|--|----------|--|-----|
| | | | し講義内容をまとめる。 | |
| 4・5 | 看護ケアのマネジメント② ストレスマネジメント チーム医療と協働 | 講義 演習 | 予習：テキスト 1) 第 2・3 章を読み、 看護職とストレスマネジメントについて まとめておく。 復習：自身に向いていると思われるスト レス対処法とチーム医療と協働につい て講義内容をまとめる。 | 木部他 |
| 6 | 看護のキャリアマネジメント | 講義 演習 | 予習：テキスト 1) 第 2・3 章を読み、自 身の看護師としてのキャリアについて 考えてくる。 復習：自身の看護師としてのキャリアの 方向性についてまとめる。 | 木部他 |
| 7 | 看護サービスのマネジメント① (組織の目標管理, 看護サービス 提供のしくみづくり) | 講義 演習 | 予習：テキスト 1) 第 4 章を読み、「看護 サービスのマネジメントの対象」につい て挙げておく。 復習：学習シート③に重要な用語を記載 し講義内容をまとめる。 | 木部他 |
| 8 | 看護サービスのマネジメント② (ケアを提供する環境・物品・財 的資源・情報のマネジメント・教 育計画・健康管理) | 講義 演習 | 予習：テキスト第 4 章を読んでおく。基 礎看護技術で学んだ「療養環境の条件」 についてレポートする。 復習：学習シート③に重要な用語を記載 し講義内容をまとめる。 | 木部他 |
| 9・10 | 看護サービスのマネジメント③ 学生が求める新人教育体制 | 講義 演習 | 予習：学生が求める新人教育についてま とめておく。 「学生が求める新人教育」について、 それぞれグループ毎に文献検討及びグ ループ学習を行い、その成果について発 表する。 復習：他者からの意見や質問を踏まえ て、レポートを作成する。 | 木部他 |
| 11 | 看護サービスのマネジメント 4 (人材のマネジメント) 人的活用 1) リーダーシップとマネジメン ト 2) 継続教育とキャリア開発・コ ンピテンシー | 講義 演習 | 予習：テキスト第 3 章、第 4 章を読み、 理想のリーダー像をまとめる。 復習：学習シート③に重要な用語を追記 し講義内容をまとめる | 木部他 |
| 12 | 組織における看護の質の評価 | 講義 演習 | 予習：テキスト第 4 章を読み医療機関の 質の評価についてまとめる。 復習：学習シート④に重要な用語を記載 し講義内容をまとめる。 | 木部他 |
| 13・14 | 看護チームと多職種連携 多職種連携・協働の現状と課題、 看護職の果たす 役割の検討 | 講義 演習 | 予習：テキスト第 2 章と第 5 章を読んで おく。 また、「病院内で活動する医療チームと 構成メンバー」についてまとめる。 予習：多職種連携・協働の現状と課題な らびに看護職の果たす役割 について、 それぞれグループ毎にテーマを設定し、 文献検討を行う。その成果について、プ レゼンテーションを行う。 復習：他者からの意見や質問を踏まえ て、レポートを作成する。 | 木部他 |

| | | | | |
|----|-------------------|----------|---|-----|
| 15 | 看護を取り巻く諸制度 まとめ | 講義 演習 | 予習：テキスト第 6 章を読み、「看護に関する法律」について列挙し法律の内容に目を通しておく。 復習：学習シート⑤に看護に関わる諸制度について重要な用語を記載し講義内容をまとめる。 | 木部他 |
|----|-------------------|----------|---|-----|

5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は 3 分の 2 以上の出席した者）50%，課題レポート 50%で総合的に評価する。
課題レポートの内容と提出日時は授業の中で提示する。

レポート提出が指定の期日に遅れた場合は 50%減点となる（1 週間以上の遅延は 0 点）。

総合評価が合格基準（60%）に満たない場合には、単位認定できない。評価対象物は、「2. 学修の到達目標」に示した達成状況を、ルーブリック評価表を基に、5 段階評価で採点する。尚、ルーブリック評価表に関する詳細は、第 1 回講義内で別途説明する。

定期試験の出題範囲と出題方法は事前に口頭で提示する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：1) 吉田千文, 志田京子, 手島恵他 ナーシング・グラフィカ看護の統合と実践①看護管理
メディカ出版

2) 平林勝政, 小西知世, 和泉澤千恵他 ナーシング・グラフィカ健康支援と社会保障④ 看護をめぐる法と制度

参考文献：随時紹介する。

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な内容

シラバスの授業計画の範囲について最低 90 分以上の予習及び、授業内容について 90 分以上の復習を行うこと。

8. 受講上の留意事項

日常的に新聞を読みニュースに触れるように心がけ、図書館を利用し文献や専門雑誌に目を通すこと。

遅刻、欠席ならびに授業中の私語、授業に関係ない言動（スマホの使用等）は慎むこと。

講義時間開始後の無断での教室の入室および退出は慎むこと。

9. 課題に対するフィードバックの方法

指示した課題は教員が内容をチェックする。内容の不備なものは再提出を求める。

定期試験の解答は試験後口頭または Classroom でフィードバックする。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

本科目は必修科目である。（履修要項・学生便覧参照）。

11. 該当する本授業は、以下の実務経験を活かして実施される

医療機関における看護管理者としての経験を活かして講義・演習を行う。